



# 蒲郡文化

No.206

蒲郡市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail [g.bunka@lion.ocn.ne.jp](mailto:g.bunka@lion.ocn.ne.jp)

## 「揮毫」

蒲郡市文化協会

会長 金原久雄

この四月の役員改選で、三期目の会長を務めさせて頂くことになりました。文芸・教養部門の中村達副会長、美術部門の小林憲三副会長、舞踊・音楽部門の佐野哲子新副会長、鈴木康祐事務局長、各部長、役員の皆様のお力添えを頂いて蒲郡市文化協会の発展に尽くしたいと思っております。

会員の皆様の絶大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。



さて表題の「揮毫」ですが、平成十一年十一月に市長に就任して以来十二年間で凡そ三十余の揮毫をしました。すぐに依頼があったのが、成人式の成人に配布する「わかぎ」の巻頭に載せる色紙でした。これはもちろん十二枚書きました。

次に多いのが橋です。坂本橋、尺地橋、大宮橋、浜田橋、野添橋、油井跨線橋、形原漁港大橋の七つです。その次に多かったのは八百富公園、常磐苑、あじさいの里、とよおか湖公園、俊成苑の五つの公園でした。これらの公園にはいろいろな思い出があります。

常磐苑は常磐館の跡地に中央本町の岡本医院の大正時代の建物を移築し、「海辺の文学館」を開設しました。とよおか湖公園は現在市内で一番の人気公園です。豊岡の個人宅の大きな楠の寄贈を受け、丘の中腹に移植し、大型すべり台とせせらぎを設置しました。



俊成苑は、夾竹桃が生い茂っていました。すつきりとした芝生の広場となり、銅像の俊成さんも竹島がよく見えるようになりました。

さて、三十余の揮毫が何とか様になっていくのは、実はコンピュータグラフィックスのおかげなのです。写真の俊成苑などは実際にはこの大きさに書くわけではなく、縦三十センチ、横九十センチの奉書に書けばあとはコンピュータが、字の大きさ、間隔、傾きを修正して、彫ったり印刷してくれるのです。

でもごまかしのきかないものもありました。色紙や「ちゅうぶ児童館」の楠の板に直接書いたものです。少しザラザラした木肌に毛筆はなかなか苦労しました。なぜ楠の板かと申しますと、「ちゅうぶ児童館」の建設にあたり中央公園のグラウンドの南側をその用地としました。そこには大きな桜が二本、楠が三本植わっていました。子供たちのために伐採しました。その楠を製材して看板にしたわけです。

以上お近くに行かれまして是非ご覧になつてください。



# 平成29年度 文協表彰紹介



《功 労 賞》

米今 常明 【吟剣詩舞部会】



《文 化 賞》

平田 正文 【謡曲部会】

4月22日の総会において5名の方が表彰されました。



《文化奨励賞》

藤田 芳子 【書道部会】



《功 労 賞》

大場満寿美 【邦楽部会】



《功 労 賞》

加藤英美代 【短歌部会】



市民憲章唱和

本人出席116名、委任者49名、総数165名にて、総会が開催されました。



## 総会記念公演

「音楽サークル  
さわらび」

平成13年に発足し、公民館で月2回の練習を行っています。  
今回は「さわらび」の歌、あの鐘を鳴らすのはあなた、生命賛歌などを伊藤健司先生の指揮と山本宗子先生のピアノの伴奏で合唱していただきました。

## 〈平成28年度〉 事業報告および収支決算報告

- ・春の文協まつり 4月29日～5月29日
- ・文協講座「舞踊」「三味線」「陶芸」「水石」「書道」
- ・子ども文化活動「箏曲」「舞踊」「俳句」
- ・市民文化祭 11月3日～11月23日・文化財めぐり11月16日・楠若葉発行
- ・機関紙「蒲郡文化」201号～204号まで4回発行
- ・市民会館・市民病院のギャラリー・市役所玄関生け花展示
- ・文化事業 29年2月25/26日「Swingin' 蒲郡2017ビッグバンドによるジャズと流行歌」
- ・県文連美術展 11月15日～20日愛知県美術館ギャラリーで開催
- ・愛知県民茶会 11月13日岡崎市で開催 鈴木博翠席主参加
- ・県文連芸能大会(東三河部)11月27日田原市で開催 邦楽部会(三味線 糸んの会)出演

### 【収入の部】

### 【支出の部】

項目	収入額(円)	説明	項目	支出額(円)	説明
1. 繰越金	297,279	前年度繰越金	1. 会議費	79,625	総会費、役員会費、その他会議費
2. 会費	2,424,700	正会員 1,000円×1,859名 18歳未満会員 300円×133名 特別会員 5,000円×125名	2. 事務費	2,357,495	事務局費、旅費、印刷消耗品費 通信連絡費、備品費、慶弔費、負担金
3. 事業収入	1,846,600	講座参加費、楠若葉投稿料 文化財めぐり、県美術展出品料 文化事業入場料	3. 事業費	4,151,192	機関紙発行費、催事費、文化事業費 文化振興費、事業奨励費
4. 補助金	1,100,000	蒲郡市	4. 予備費	0	
5. 負担金	1,500,000	市民文化祭、芸能大会	5. 積立金	440,000	周年事業費、県芸能大会費 職員退職金、文化事業費
6. 雑収入	24,247	利息、楠若葉売上等	6. 残高	164,514	次年度へ繰越
収入合計	7,192,826		支出合計	7,192,826	

## 〈平成29年度〉 事業計画および収支予算

- ・春の文協まつり 4月29日～5月28日
- ・文協講座「菊花」「詩吟・歌謡吟詠」「ちぎり絵」
- ・子ども文化活動「箏曲」「舞踊」「俳句」
- ・市民文化祭 11月3日～11月23日・文化財めぐり11月15日・楠若葉発行
- ・機関紙「蒲郡文化」を4回発行 4月15日、7月15日、10月15日、1月15日
- ・市民会館・市民病院のギャラリー・市役所玄関生け花展示
- ・文化事業 30年2月18日
- ・県文連東三河連絡協議会 4月27日蒲郡市で開催
- ・県文連芸能大会(東三河部) 7月9日蒲郡市で開催
- ・県文連美術展 9月27日～10月1日愛知県美術館ギャラリーで開催
- ・愛知県民茶会 10月15日 東郷町で開催

### 【収入の部】

### 【支出の部】

項目	収入額(円)	説明	項目	支出額(円)	説明
1. 繰越金	414,514	前年度繰越金、 文化交流・文化事業積立金	1. 会議費	120,000	総会費、役員会費 その他会議費
2. 会費	2,485,000	正会員 1,000円×1,770名 18歳未満会員 300円×120名 特別会員 5,000円×120名	2. 事務費	2,485,000	事務局費、旅費、印刷消耗品費 通信連絡費、備品費、慶弔費、負担金
3. 事業収入	2,035,000	講座参加費、楠若葉投稿料 文化財めぐり、県美術展出品料 文化事業入場料	3. 事業費	4,706,000	機関紙発行費、催事費 県文連事業費、文化事業費 文化振興費、事業奨励費
4. 補助金	1,100,000	蒲郡市	4. 予備費	86,000	
5. 負担金	1,500,000	市民文化祭	5. 積立金	140,000	周年事業、職員退職金 浦添市文化協会交流
6. 雑収入	2,486	利息等			
収入合計	7,537,000		支出合計	7,537,000	

# まつり

## 芸能発表会 中ホール

5月21日



和太鼓



大正琴



雅楽

250人以上の方がいろいろな演目で出演され、練習の成果を発表されました。今回は写真がありませんが、「相撲甚句」「民謡」「三味線」などのステージもあり、また、ステージ以外の部門の方々にも見に来ていただきたいという話も出ていました。



舞踊



謡曲



吟剣詩舞

### 第三十二回蒲郡俊成短歌大会

4月29日(祝) 中ホール

#### 中日新聞社賞

齋藤とし子

待合室に小さな海を与えられ  
一生を終えるか熱帯魚らは

#### 入選

伊藤 治輝

病みてより麻痺あるわれに添ひくれし  
妻にいつしか白髪直立つ

下山 敦子

意のままに手足動きてしなやかに  
米寿のわれはワルツを踊る

鈴木美耶子

端と端きつちり合はせ毛布たたむ  
父の仕草の今朝また浮かぶ

#### 奨励賞

鈴木 憲治

水槽をかかへて階段おりてゆく  
横むきながら一段一段

鈴木圭満江

独り居の音なき部屋に生けた梅  
花も瑞枝も光あふれる

俵 朝子

大口をあけ冬の風飲み込めば  
路傍の猫に見られてしまひぬ

# 春の文協



ふれあい  
茶会  
5月28日

会議室1 裏千家  
会議室2 表千家  
会議室3 宗徧流

各席とも200人近い  
お客があり、午前中  
は廊下に席を待つ人  
で賑わっていました。

春の文協まつり  
表千家



華道展 5月20・21日

6流派の方々が、大  
小さまざまな花を活  
けられ、また、お茶  
の接待もあり900人  
近い来場者で華やか  
な会場となっていま  
した。



書道・工芸展 5月26日～28日

天井が高く展示しにくい中、260  
点以上の作品が見やすいよう展示  
されており、650人ほどの来場者  
がありました。



東ホール



皐月盆栽展 5月27・28日

大会議室で皐月盆栽  
52点、中会議室で水  
石36点が展示され、  
二日間で300人ほど  
の来場者がありました。  
両会場とも、出品者  
の高齢化か、小品が増  
えたように思います。



水石展 5月27・28日

## 俳句大会

5月20日(土) 大会議室

蒲郡市長賞 小田二三枝  
藤棚は風の揺りかご札所寺  
蒲郡市議会議長賞 内田 陽子  
はつ夏の小匙に揺るる離乳食  
蒲郡市教育委員会賞 平野 京子  
鎌研ぎし八十八夜の祖父の背  
蒲郡市文化協会賞 大場 安子  
馬の耳びくと五月の風を聴く  
中日新聞社賞 加藤 教市  
傾ぐほど潮風孕むヨットの帆  
ドローンが人文字写す昭和の日  
小田かず子  
蒲郡新聞社賞 小泉 茂  
たんぼの絮まんまるに飛ぶ構え  
壁谷 禮伺  
清貧を豊かにくらす薔薇屋敷

中村 文子  
平穩に過ぎしちにち日記には  
天気献立それだけ記す

森 厚子  
うおおと山ふところひびかせて  
神に届けお祝詞の声を

\*文協会員のみ掲載(詳細はホームページ)



水墨画展 5月12日～14日  
(出品点数 73点)

# 春の文協まつり

博物館ギャラリー会場

会員の高齢化・減少が進んでいる中、多くの力作が展示され、見ごたえのある会場となっていました。



絵画展 5月19日～21日  
(出品点数 45点)



写真展 5月26日～28日  
(出品点数 51点)

## 文化の継承

### 「50周年を終えて」

早瀬 恵雲

花月流は、昭和十八年初代家元岡村秀慶が他流派の先生方の助言・賛同を得て付けられた名前です。語源は「花に思いあり、月に型あり、しばし流れを止め君と語らん」と伝えられています。戦時中は物不足の最中、蒲郡に滞在中の芸術家や作家の諸先生方、他流派の宗匠等に励まされ乗りきったと聞いております。

二代目家元

早瀬碧雲が最も創作活動が盛んだった四十代の頃、第一回花月展が旧文化センターで開催されました。その当時私はまだ中学生でしたが、碧雲を中心にとした男性共同作品



(石膏のオブジェ) が会場に展示されていたのを記憶しています。

蒲郡は当時、繊維産業が盛んで地方(主に九州)から多くの女性達が住み込みで働いていました。その殆どが華道に親しみ、花月流も栄えた時代だったと思います。

毎年開催されている花月展も、第二十五回までは旧文化センター、体育センター、市民会館会議室を借り、第二十六回から市民会館東ホールで展示し、現在に至っています。

昨年第五十回記念華展が開催できたのも家元碧雲を支えてくださった先生方をはじめ社中の方々、そして毎年楽しみに観賞してくださっている方々のご支援があったからだと感じています。

これからも、花の生命を心で表現し、多くの人々に感動と安らぎを感じてもらいながら、伝統文化を絶やさないように、少しでもお役に立てれば幸いです。



## 永向寺の 愛染明王坐像

丸山町の永向寺（浄土宗西山深草派）に祀られている木造愛染明王坐像は、県指定文化財の貴重な仏像である。

この像は、元々は京都石清水八幡宮に祀られていたが、明治初めの神仏分離の時に本山の誓願寺に移されていた。昭和六年（一九三二）に永向寺二十五世住職松井慶庵師の時に、地方有信者のために本寺に下付されたのである。

実は、この愛染明王は、「元寇の役」に祈求ご本尊様として、鎌倉幕府が国家安泰・戦勝祈願をされて「神風」を吹かせ国を救ったと伝承されている。製作時期は、作風から鎌倉〜南北朝と考えられている。

本体はヒノキ材で作られ、寄木造・玉眼嵌入・彩色などの技法による像である。



像全体の調和がよく極めて洗練されている。

刀法は彫が深く力強く量感に満ちている。台座はケヤキ材で蓮弁とともに後補と思われる。像高は一二一センチ、膝張り八二センチである。

長い間に虫害や捌目<sup>はきめ</sup>のゆるみなどで損傷が激しかったので平成十七年〜十八年度に京都の財団法人美術院にて修復され本堂に祀られている。

愛染明王坐像は、人間の愛欲・煩惱をコントロールし悟りを求める心へ導いてくださり、また男女の良縁・家内繁栄・無病息災など、ご利益がある。愛染明王祭は七月一日に行われる。

（林 正夫）

### 平成 29・30 年度の役員・運営委員さんです。よろしくお願ひします。（○印は新任）

会長	金原 久雄	（文芸・教養部門）
副会長	中村 達	（美術部門）
副会長	小林 憲三	（舞踊・音楽部門）
副会長	○佐野 哲子	（舞踊・音楽部門）
文芸・教養部門【部会長】	伊藤 伸	【運営委員】
短歌	伊藤 伸	加藤美美代
俳句	壁谷 禮伺	俵 佑方人
華道	○竹内 慶星	○稲田 瑞幸
茶道	鈴木 博翠	中野 宗恵
臯月盆栽	安部 正和	上林 俱文
水石	平岩 尚文	○広浜 弘泰
菊花	羽田喜久司	河井 宏幸
美術部門	山本 定男	○服部 正昭
絵画	杉村 淑之	○佐野 孝子
水墨画	壁谷 桔華	○近藤 弘安
書道	吉見 房夫	○松本 敬三
写真	杉浦 才	近藤佐代子
工芸	○牧野 一吉	田中 章子
舞踊・音楽部門	○篠田多美子	仲田 武司
吟剣詩舞	近藤 精一	杉浦 弘保
箏曲	○大場満寿美	永島 満誇
謡曲	西川佳ふ久	三喜 藤菊
邦楽	鈴木 清貴	○広浜 洋子
舞踊	鈴木 清貴	○平田 正文
洋楽	木村君多香	池田とく子
監事	鈴木 伊昭	牧原 克子
編集委員	鈴木美耶子	○齋藤とし子
ポスター委員	横田 英夫	杉田 翠風
	市川 勝代	○杉村 淑之

### 《退任の挨拶》

前副会長 平田 正文

謡曲部会の会員増加もままならぬ中、文協組織全体の高齢化問題の対策も見つからず、次の方へとバトンを渡す事となり心苦しく思っております。

気分一新、この困難を少しでも好転されます様、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

### 《新任の挨拶》

新副会長 佐野 哲子

副会長という大役を任命され、責任の重大さを実感しております。

初めての事ばかりで、皆様の御指導と助けを頂きながら、文化協会の発展に少しでも貢献できる様に、一杯頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 金原久雄会長

#### 「旭日小綬章」

おめでとうございます。

5月9日愛知県庁において知事より勲記、勲章を伝達され、5月12日皇居 豊名殿にて天皇陛下に拝謁。

# お 知 ら せ

## 歌・句集「楠若葉36」投稿募集

- 【投稿規定】 一人5首または5句  
用紙は、文協事務局・各公民館にあります。
- 【投稿料】 500円(1冊配本)
- 【締切】 7月28日(金)
- 【申込】 投稿料を添えて文協事務局へ

## 第41回県文連美術展出品作品募集

- 【作品受付】 10月3日(火)～17日(火)  
日本画・洋画・工芸・彫塑・書
- 【会期】 9月27日(水)～10月1日(日)
- 【搬入】 9月15日(金)
- 【搬出】 10月2日(月)
- 【出品料】 4,500円(一般)
- 【申込】 出品料を添えて文協事務局へ。

## 文化財めぐり参加者募集

- 【行先】 京都市内 清涼寺・野宮神社・廬山寺
- 【日時】 11月15日(水) バス2台
- 【参加費】 8,700円  
拝観料・弁当代含む
- 【締切】 10月12日(水)
- 【申込】 文協事務局へ来ていただくか、往復はがきにて。参加費は後日納入。
- 清涼寺(霊宝館拝観)・徒歩・野宮神社・廬山寺  
清涼寺：光源氏が造営した「嵯峨の御堂」と目される寺院。4・5・10・11月に特別拝観
- 野宮神社：源氏物語、謡曲野宮でも有名
- 廬山寺：紫式部が「源氏物語」を執筆した邸宅跡

### 市民会館の催し物 (問合せ TEL 0533-68-5509)

松竹大歌舞伎	7月19日(水)
第51回碩山書院一門展	9月9日(土)・10日(日)
月例茶会 席主：大場宗由	9月10日(日)
月例茶会 席主：遠山翠雲	10月1日(日)

### 図書館の催し物 (問合せ TEL 0533-69-3706)

企画展「カリヲ・カリカチュア」	7月8日(土)～23日(日)
英文多読講演会	7月23日(日)
本のリサイクル	7月29日(土)～8月3日(水)
夏の特別展「もう一人のダーウィン～アルフレッド・ウォレス～」	8月11日(金・祝)～27日(日)
蒲郡の観光展	9月1日(金)～6日(水)
交通安全ポスター展	9月9日(土)～20日(水)
内藤勲の似顔絵ッセイ展 パート23	10月1日(日)～15日(日)

### 博物館の催し物 (問合せ TEL 0533-68-1881)

第9回現代水墨画合同墨彩画展	9月8日(金)～10日(日)
SL写真とミニチュア機関車展	9月16日(土)午後1時～18日(月・祝)
原勝久 水墨画個展	9月22日(金)～24日(日)
カンボジア 子ども絵画展	10月12日(水)～18日(水)

### その他の会場 (問合せ TEL 0533-68-5509)

「いのちー考えよう命ー」公演	8月19日(土)	蒲郡信用金庫本店1階コミュニティホール
邦楽コンサートひびきvol.9	8月20日(日)	生きがいセンター
蒲郡NYコーラス35周年記念演奏会	8月25日(金)	蒲郡クラシックホテル
第5回ふれあい一吟会	9月8日(金)	豊川ゆうあいの里ふれあいセンター